

アルジェリア政治・経済月例報告 (2024年6月)

2024年6月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 3-6日、中等教育修了試験が実施され、3,040の試験センターで818,439人が受験。
- 4日、ベングリナ・エル・ビナー運動党首は、アルジェリアのための多数派政党連合(CPM A)への加盟を凍結する旨発表するとともに、少数9政党党首と共にテブン大統領出馬への支持を再表明。
- 4-6日、シェングリハ国軍参謀総長は、第5軍管区(コンスタンティーヌ)を視察。ジジェル沖にて、海上戦術演習「ディラア・エル・ムアトワシット 2024」、アムドゥカル射撃演習場において、戦術演習「EL-AZM2024」を監督。
- 5日、テブン大統領は、深刻な不正行為と職業倫理の不履行を理由に、ブアカズ大統領顧問(儀典担当)を解任。
- 8日、テブン大統領は、次期大統領選に向けた有権者召集の大統領令に署名。
- 8日、アウシシュ社会主義勢力戦線(FFS)党首は、次期大統領選への出馬表明。
- 9日、独立選挙機関(ANIE)は、次期大統領選への立候補届出の受付を開始。
- 9日、ベンバレク国民解放戦線(FLN)党首は、テブン大統領支持を表明。
- 9-13日、バカロレアが実施され、2,869の試験センターで86,000人以上が受験。
- 9日、ナグザ・アルジェリア企業総連合(CGEA)代表は、次期大統領選への出馬表明。
- 15日、テブン大統領は、犠牲祭を前に、国民向けメッセージを发出。
- 16日、テブン大統領は、犠牲祭に際し、グランド・モスク・アルジェを訪問。
- 19日、当国国防省はコミュニケにて、1994年1月1日以前に生まれ、未徴兵の国民への兵役免除を発表。
- 21日、メラッド内務・地方自治・国土整備相は、モスタガネム県において森林火災に対応するための中央空中消火基地を開所。
- 22日、民主国民連合(RND)、未来戦線(FM)、国民の声(Sawt Echaab)は、テブン大統領の2期目への立候補をそれぞれ要請。
- 23日、シャルフィANIE代表は、立候補申請書の提出期限が7月18日、候補者リストの発表が7月27日、憲法裁判所による立候補者リストに係る最終判断が8月3日となる旨発表。
- 6月30日、国民評議会(上院)及び国民議会(下院)の会期が終了。

外交

- 1-5日、アッターフ外相は、韓国を訪問し、韓国・アフリカサミット閣僚準備会合及び首脳会合に出席。尹・韓国大統領、イサイアス・エリトリア大統領、趙・韓国外交部長、潘・前国連事務総長、トゥガー・ナイジェリア外相、ムシレンガ・ナミビア国際関係・協力相、バーウール・リビア外相代行とそれぞれ会談するとともに、プリンケン米国務長官と電話会談。

- 7日、2025－27年経済社会理事会理事国選挙に当国が当選。
- 9－10日、C10閣僚会合がアルジェで開催。テブン大統領は、当地訪問中のC10各国代表団長一行と会談するとともに、アッターフ外相は、カバ・シエラレオネ外務・国際協力相、ガコソ・コンゴ共外務・仏語圏・在外自国民相、アンダメ赤道ギニア国際機関担当相、バーウール・リビア外相代行とそれぞれ会談。
- 10日、テブン大統領は、当地訪問中のパリ・グランド・モスクのハフィズ院長と会談。
- 10日、当国外務省はコミュニケにて、ガザ地区ヌセイラート難民キャンプへのイスラエルによる空爆を最も強力かつエネルギーに満ちた言葉で非難。
- 11日、アッターフ外相は、トルコを訪問し、エルドアン大統領を表敬。
- 11日、マグラマン外務次官は、当地訪問中のダシティ国連西アジア経済社会委員長と会談。
- 12日、当地訪問中のバドル・オマーン外相は、アッターフ外相との間で、第8回両国合同委員会を開催するとともに、ラルバウィ首相と会談。
- 12日、シェングリハ国軍参謀総長は、当地訪問中の旧ソ連地雷除去技術者、パヴレンコ退役大佐(テブン大統領が2023年6月に露を公式訪問した際に勲章を授与)と会談。
- 12日、マグラマン外務次官は、カタールを訪問し、アール・サーニ首相兼外相と会談。
- 13－15日、テブン大統領は、伊開催のG7プーリア・サミットに出席するとともに、メローニ首相、マクロン仏大統領、ミシェル欧州理事会議長、ハシャニ・チュニジア首相、ガズワニ・モーリタニア大統領、ルト・ケニア大統領とそれぞれ会談。
- 16日、テブン大統領は、犠牲祭に際し、サイード・チュニジア大統領と電話会談。
- 24日、テブン大統領は、ガザ地区への野戦病院設置の用意がある旨表明。
- 25日、ラルバウィ首相は、ムスタファ・パレスチナ首相兼外務・移民庁長官と電話会談。
- 25－28日、アッターフ外相は、オーストリア及びポーランドを訪問。オーストリアでは、シャレンベルク欧州・国際担当相、ブレシャ元内相、セラ・オーストリア・西サハラ友好協会会長、タチャイチャワリット国連薬物犯罪事務所(UNODC)事務局長代行、グロッシー国際原子力機関(IAEA)、フロイド包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)事務局長、ポーランドでは、シコルスキ外相とそれぞれ会談。
- 26日、マグラマン外務次官は、ロシアを訪問し、ボグダノフ外務次官との間で第3回両国政策協議を開催。
- 29日、テブン大統領は、ララ・ラティファ・モロッコ王女の逝去を受け、モロッコ国王に弔意を表明。

経済

- 1日、内務・地方自治・国土整備省及び農業・農村開発省は、ナーマ県にて戦略的作物への投資見通しと在来品種の強化に係る全国会議を開催。農業・農村開発省は、アルジェリア経済再生評議会(CREA)との間で、当国農業の促進と復興のための枠組み協定に署名。アルジェリア投資促進庁(AAPI)は、投資プロジェクトの実施のために経済用地付与に係る21の決定に署名。ダハレブ環境・再生可能エネルギー相は、農地の灌漑を目的とした太陽光発電所建設計画を発表。
- 1日、官報第36号に、ティンドゥフ県のモーリタニアとの国境沿いにおける自由貿易圏創

設に係る大統領令が掲載。

- 1日、中国自動車ブランド Jetour は、アルジェ県及びセティフ県に続き、アンナバ県にショールームを開設。
- 1日、アルカブ・エネルギー鉱山大臣は、リヤドを訪問し、第188回石油輸出国機構(OPEC)会議、第54回閣僚級監視委員会(JMMC)及び第37回OPEC・非OPEC(OPEC+)閣僚会議にオンライン出席するとともに、ロシア及びイラクの副首相、サウジアラビア、カザフスタン、クウェートのカウンターパートとそれぞれ会談。
- 2日、アルジェリアと韓国の合弁海洋サービス会社 Sakomas のティジ・ウズ県造船所にて、40人乗りの船の竣工式が開催。
- 3日、QRコードを使用した銀行間取引や口座間送金を可能にする新サービス「スイッチ・モバイル」の開始式が開催。
- 3-6日、当地訪問中のビジャニ国際通貨基金(IMF)エグゼクティブディレクターは、タレブ・アルジェリア銀行総裁及びファーイド財務相とそれぞれ会談。
- 3日、アウン産業・製薬相は、当地訪問中の中国自動車メーカーJAC社長及び同社当地代理店 Emin Auto 社長と会談。
- 4日、ビジネス・フランス・アルジェリアは、アルジェリア下請・提携証券取引所(BASTP)及び中小企業専門家協会との間で、第4回アルジェリア・フランス産業提携フォーラムを開催。
- 4日、デルバル水相とアウン産業・製薬相は、バドナ県のブジナ・ダム の竣工式を開催。また、国営製薬会社サイダル社の3つの医薬品生産工場の礎石を敷設。
- 4日、アルジェ空港サービス・インフラストラクチャ管理会社(SGSIA)は、アルジェ国際空港の東ターミナル建設計画開始を発表。
- 5-8日、アウン産業・製薬相及びムーラCREA会長は、サンクトペテルブルクで開催された国際経済フォーラムに出席。
- 6日、ダハレブ環境・再生可能エネルギー相は、ブイラ県において、廃棄物の回収・リサイクルのための機械の製造工場等複数のプロジェクトを発足。
- 6日、再生可能エネルギー・省エネ庁(CEREFÉ)、独エネルギー庁DENA及びオランダ企業庁RVOの3者で18か月にわたって実施された提携プロジェクトが正式に完了。
- 6日、国営鉄道公社(SNTF)は、アルジェとチュニスを結ぶ列車の試運転を実施。
- 6日、デイドゥーシュ観光・手工業相は、EUとの協力の下、観光業のデジタル化や若者の雇用促進を目的とするアプリケーション Siyahatec を立ち上げ。
- 6-11日、北京訪問中のハシシ国営炭化水素公社ソナトラック総裁は中国国営炭化水素公社(CNPC)総裁と会談し、シノペック及びファーウェイとの間で覚書に署名。
- 7日、アルジェリア認定機関(Algerac)は、西アフリカ認定システム(SOAC WAAS)及び当国科学研究・開発技術総局(DGRSDT)との間で、それぞれ協力協定に署名。
- 9日、ファーイド財務相は、アルジェリア国立銀行(BNA)と国民貯蓄共済銀行(CNEP)の新総裁としてタムラベト・サミール氏とブーズィアニ・シディ・アフメド氏をそれぞれ任命。
- 10日、貿易・輸出促進省は、輸入業者が輸入に係る銀行手続等の質問や疑念を投稿できる新しいオンラインスペースの開設を発表。
- 10日、ムーラCREA会長、デイドゥーシュ観光・手工業相及び観光分野の主要な官民組

織は、夏のホリデーシーズンに向け国内観光促進を目的とする協力協定に署名。

●10日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地を訪問した韓国JPエナジー・グローバル副社長と会談。

●10日、ブガリ下院議長は、マーティン南米南部共同市場議会(PARLASUR)議長とオンライン会談。

●10日、ソネルガスは、ブイラ県の東西高速道路沿いに8つの電気自動車用充電ステーションを設置した旨発表。

●11日、カスディ・メルバ大学(ウアルグラ県)は、トタルエナジーズ・アルジェリアとの間で、イノベーションと起業家精神の促進を目的とする製造研究所設立に係る協力協定に署名。

●11日、独科学技術グループ Merck 及び当国製薬会社LDMは、当国での薬品製造に係る覚書に署名。

●12日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、第8回アルジェリア・オマーン合同委員会会合及びビジネスフォーラム出席のため当地訪問中のアブラジ・エナジー・サービス会長兼CEOと会談。

●13日、ソナトラックは、米石油・ガス大手シェブロンとの間で、炭化水素資源開発に係る覚書に署名。

●13日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、スペインGVM社がソナトラック子会社 Asmida に対し Fertial の全株式を売却し、Fertial 社が100%ソナトラックの所有になった旨発表。

●13日、ムーラCREA会長は、第112回国際労働機関(ILO)総会出席のためジュネーブを訪問し、ウングボILO事務局長と会談。

●14日、EUは、EU企業に課せられている貿易制限に対処するため、EU・アルジェリア連合協定に基づき、アルジェリアに対し紛争解決手続を開始。

●19日、ヘルフィ国家社会経済環境評議会(CNESE)議長は、マルタ開催の欧州・地中海経済社会理事会及び類似機関サミットに出席。

●20日、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は、スマホアプリによる配車サービスを提供するスタートアップ・ヤッシール社を訪問し、同社CEOと会談。

●22日、アッターフ外相及びジトゥニ商業・輸出促進相は、経済外交を後押しする上でのビジネス評議会の役割に関するセミナーを開催。同セミナー内で、アルジェリア商工会議所(CACI)は、外交国際関係研究所(IDRI)と間で協力協定に署名したほか、当国と外国人投資家間の交流促進を目的とするデジタルプラットフォームを立ち上げ、AAPIIは、国際投資フォーラムInvest DZの創設を発表。

●23日、CEREFÉは、韓国エネルギー庁(KEA)と共同で第1回アルジェリア・韓国エネルギー効率フォーラムを開催。両者は、エネルギー効率、再生可能エネルギー、グリーン水素の分野における技術協力強化に係る覚書に署名。

●23日、ソナトラック傘下アルジェリア石油研究所(IAP)は、トタルエナジーズEPアルジェリアとの間で、人材育成に係る3年間の覚書に署名。

●23日、法務・国璽省刑務所管理・社会復帰総局は、ドイツの協力財団(IRZ)との協力の下、刑務所管理幹部の研修システム開発に関する国際会議を開催。

●23日、ミュラー国連工業開発機関(UNIDO)事務局長は、当国を訪問し、テブン大統領、アッターフ外相、アルカブ・エネルギー・鉱業相、ダハレブ環境・再生可能エネルギー相とそ

れぞれ会談を行い、アウン産業・製薬相と共同宣言に署名したほか、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相と共にアルジェリア・ベンチャーを視察。

●24日、当国エネルギー・鉱業省及び当地EU代表部は、「グリーン水素に基づく経済へ：戦略、規制枠組み、進行中のプロジェクト」と題する会合を開催。

●24日、環境・再生可能エネルギー省は、6月26日の世界冷凍デーに合わせ、UNIDOとの間で、「より良い未来のためのグリーン冷却」をテーマに式典を開催。

●24-26日、当国保健省は、世界保健機関(WHO)後援の下、全ての政策における健康(Health in All Policies)に関する国際フォーラムを開催。

●24-29日、第55回アルジェ国際見本市が開催。24日、テブン大統領は、名誉招待国として当地訪問中のユルマズ・トルコ副大統領と会談。ジトゥニ商業・輸出促進相は、ボラト・トルコ貿易相との間で、アルジェリア・トルコ・ビジネスフォーラムを開催。ギョクタシュ・トルコ家族・社会サービス相は、クリク国民連帯・家族・女性相、アルカブ・エネルギー・鉱業相とそれぞれ会談。

●28日、パリ訪問中のファード財務相は、経済協力開発機構(OECD)を訪問し、多国籍企業による脱税防止を目的とした多国間条約「BEPS防止措置実施条約」に署名。

治安

●1日、アルジェ県警察は、憲兵隊が交通事故後に逃走した車両を追跡し、車内に隠匿されていた向精神薬5千錠以上、コカイン、金銭等を押収するとともに、薬剤師2人を含む7人を逮捕した旨発表。

●4日、オラン県警察は、SNS上で旅行代理店を名乗り、欧州や北米への各種査証の取得代行を格安で提供すると、客から多額の金銭を詐取していた7人組を逮捕。被害者数は現段階で約100人、被害総額は4千万ディナール以上。

●5日、国軍は、5月29日-6月4日実施の掃討作戦でテログループ支援者3人を逮捕した旨発表。

●11日、アルジェ県警察は、憲兵隊が同県ビル・ムラド・ライス地区で外貨不正両替と外国商品の違法販売を行っていたグループを検挙し、約800万ディナール、多数の外国製たばこ及び外国製携帯電話機を押収した旨発表。

●13日、国軍は、5日-11日実施の掃討作戦でテログループ支援者19人を逮捕、また、テロリスト3人が軍当局に投降した旨発表。

●19日、オラン県警察は、旅行代理店に道案内を口実に立ち入り、同店経営者を呪術の道具を使って意識を失わせた上、金品を奪った容疑で5人を逮捕し、被害品の宝石、6万ディナール及び呪術に使われたとみられる護符等を押収した旨発表。

●20日、国軍は、12日-19日実施の掃討作戦でテログループ支援者3人を逮捕、また、テロリスト2人が軍当局に投降した旨発表。

●20日、アルジェ県警察は、宝石・貴金属及び歴史的遺物の密輸・取引を専門とする国際犯罪組織の構成員4人を逮捕し、総額3億ディナール相当の宝石、貴金属、古銭、彫像などを押収した旨発表。

●26日、国軍は、20日-25日実施の掃討作戦でテロリスト1人を殺害、テログループ支援者3人を逮捕した旨発表。

●26日、国軍は、20日－25日実施の密輸・組織犯罪対策で、タマンラセット県、ボルジ・バジ・モクタール県及びイン・ゲザム県において131人を逮捕し、多数の金採取用機器（自家発電機68機、ドリル47機、爆発物、起爆道具）及び大量の金・石混合物を押収した旨発表。

●29日、国家警察庁（DGSN）は、15日にウアルグラ県ウアルグラ地区の病院で新生児が誘拐された事件の捜査を進め、被疑者8人を逮捕した旨発表。被害に遭った乳児は、被疑者の自宅で無事に保護された。

（了）